

株 式 取 扱 規 則

株式会社 FUJI

愛知県知立市山町茶碓山19番地

株式会社F U J I 株式取扱規則

第 1 章 総 則

(目的)

- 第 1 条 当社の株式および新株予約権に関する取扱い（株主の権利行使に際しての手續等を含む。）およびその手数料については、定款の規定に基づきこの規則に定めるところによるほか、振替機関である株式会社証券保管振替機構（以下「機構」という。）ならびに口座管理機関である証券会社および信託銀行等（以下「証券会社等」という。）の定めるところによる。
2. 当社および当社が指定した信託銀行との間で締結した契約に基づき開設された特別口座の取扱いおよび手数料、株主の権利行使に際しての手續等は、この規則の定めるところによるほか、当該信託銀行の定めるところによる。

(株主名簿管理人)

- 第 2 条 当社の株主名簿管理人および同事務取扱場所は次のとおりとする。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(請求または届出)

- 第 3 条 この規則による請求または届出は、当社の定める書式によるものとする。ただし、当該請求または届出が証券会社等および機構を経由して行われる場合ならびに第 18 条第 1 項に定める場合は、この限りでない。
2. 前項の請求または届出について、代理人より行うときは、代理権を証明する書面を、保佐人または補助人の同意を要するときは同意を証明する書面を提出しなければならない。
3. 当社は、第 1 項の請求または届出が証券会社等および機構、もしくは証券会社等を経由して行われた場合には、当該請求または届出が株主からなされたものとみなして取扱うことができるものとする。
4. 当社は、第 1 項の請求または届出をした者に対し、その者が株主または代理人であることを証明する資料の提出を求めることができるものとする。
5. 当社は、前項に定める資料の提出を求めた場合、その提出がない限り、第 1 項の請求または届出を受理しない。

第2章 株主名簿への記載または記録等

(株主名簿への記載または記録)

- 第4条 当社は、機構より受領する総株主通知に基づき株主名簿への記載または記録を行う。
2. 当社は、株主名簿に記載または記録される者（以下「株主等」という。）の住所の変更の通知その他株主名簿記載事項の変更に関する通知を受領した場合には、当該通知に基づき株主名簿への記載または記録を変更する。
 3. 前2項のほか、新株の発行その他法令に定める場合は、株主名簿への記載または記録を行う。

(株主名簿に使用する文字等)

- 第5条 当社の株主名簿は、機構が指定する文字・記号により記載または記録するものとする。

(新株予約権原簿への記載または記録等)

- 第6条 新株予約権原簿への記載または記録、新株予約権に係る質権の登録、移転または抹消、信託財産の表示または抹消の請求は、株主名簿管理人に対して行うものとする。
2. 前項に定めるほか、新株予約権の取扱いについては別途定めることができる。

第3章 諸 届

(株主等の住所および氏名または名称の届出)

- 第7条 株主等は、住所および氏名または名称を当社に届け出なければならない。
2. 前項の届出または変更は、証券会社等および機構を経由して届け出なければならない。ただし、第4条第3項に定める場合はこの限りでない。

(外国居住株主等の届出)

- 第8条 外国に居住する株主等は、日本国内に常任代理人を選任するかまたは通知を受ける場所を定めて届け出なければならない。
2. 常任代理人は、前条第1項の株主等に含まれるものとする。
 3. 第1項の届出または変更は、証券会社等および機構を経由して届け出なければならない。ただし、第4条第3項に定める場合はこの限りでない。

(法人の代表者)

- 第9条 株主等が法人であるときは、その代表者1名の役職名および氏名を届け出なければならない。
2. 前項の届出または変更は、証券会社等および機構を経由して届け出なければならない。ただし、第4条第3項に定める場合はこの限りでない。

(共有株式の代表者)

第10条 株式を共有する株主は、その代表者1名を定めてその住所および氏名または名称を届け出なければならない。

2. 前項の届出または変更は、証券会社等および機構を経由して届け出なければならない。ただし、第4条第3項に定める場合はこの限りでない。

(法定代理人)

第11条 親権者または後見人等の法定代理人があるときは、法定代理人の住所および氏名または名称を届け出なければならない。

2. 前項の届出、変更または解除は、証券会社等および機構を経由して届け出なければならない。ただし、第4条第3項に定める場合はこの限りでない。

(その他の届出)

第12条 第7条から前条までに規定する届出のほか、当会社に届出をする場合には、当社が特段の方法を指定しない限り、証券会社等および機構、もしくは証券会社等を経由して届け出るものとする。ただし、第4条第3項に定める場合はこの限りでない。

2. 証券会社等で受理または取り次ぐことができない届出は、株主名簿管理人に対して届け出るものとする。

(新株予約権者の届出事項等)

第13条 当社の新株予約権原簿に記載または記録される者の届出事項およびその届出方法については第7条から前条までの規定を準用する。ただし、第6条第2項による別途の定めがない限り、届出先は株主名簿管理人とする。

第4章 単元未満株式の買取り

(単元未満株式の買取り)

第14条 単元未満株式の買取りを請求するときは、機構の定めるところにより、証券会社等および機構を経由して行うものとする。

(買取り価格の決定)

第15条 単元未満株式の買取り単価は、前条の請求が第2条に定める株主名簿管理人事務取扱場所に到着した日の東京証券取引所の開設する市場における最終価格とする。ただし、その日に売買取引がないときは、その後最初になされた売買取引の成立価格とする。

2. 前項による買取り単価に、買取り請求株式数を乗じた額をもって買取り価格とする。

(買取り代金の支払い)

第16条 当社は、当社が別途定めた場合を除き、買取り価格の決定日の翌日から起算して4営業日目に、買取り請求者に買取り代金を支払う。

2. 前項の場合、買取り価格が剰余金の配当、株式の分割等の権利付価格であるときは、基準日までに支払う。

(買取り株式の移転)

第17条 買取り請求を受けた単元未満株式は、前条の規定による買取り代金の支払い手続きを完了した日に当社の口座に振り替えられるものとする。

第5章 少数株主権等の行使方法

(少数株主権等の行使方法)

第18条 社債、株式等の振替に関する法律(以下「振替法」という。)第147条第4項に定める少数株主権等を当社に対して直接行使するときは、個別株主通知の申出をしたうえ、記名押印した書面により行うものとする。ただし、外国人は署名をもって記名押印に代えることができる。

2. 前項の少数株主権等の行使については、第3条第2項、第4項および第5項を適用するものとする。

(株主提案議案の株主総会参考書類)

第19条 前条第1項に定めるところにより株主提案権が行使された場合、提出議案に関する以下の事項について、400字を超える場合には、株主総会参考書類にその概要を記載するものとする。

- ① 提案の理由
- ② 取締役、監査役および会計監査人の選任に関する事項

第6章 手数料

(手数料)

第20条 株式取扱いに関する手数料は、無料とする。

2. 株主等が証券会社等または機構に対して支払う手数料は、株主等の負担とする。

附則

(効力発生日)

第1条 本規則の改定の効力発生日は、東京証券取引所への上場日とする。(附 則)

(経過措置)

第2条 附則第1条から本条までの規定は、附則第1条に定める効力発生日の翌日をもってこれを削除する。

以 上

1962年10月25日 制定
1964年02月29日 改定
1966年10月25日 改定
1979年05月25日 改定
1981年04月28日 改定
1982年09月28日 改定
1989年05月2日 改定
1992年04月28日 改定
1994年06月01日 改定
1994年06月29日 改定
1995年01月30日 改定
1999年10月01日 改定
2000年04月01日 改定
2001年10月01日 改定
2002年01月15日 改定
2002年06月27日 改定
2003年03月25日 改定
2004年06月29日 改定
2005年10月01日 改定
2006年05月01日 改定
2007年12月25日 改定
2008年10月28日 改定
2009年05月14日 改定
2013年06月13日 改定